

お知らせ

新年度も第2、第4火曜日に買物支援バスの運行を行います。お問合せお申し込みは住民センター86-2002まで。

岩 沢 通 信

第64号

2018年(平成30年)5月25日創刊
発行 岩沢アチコタネーゼ
岩沢地域振興協議会・岩沢分館
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

鮭の稚魚放流開催



2月28日午前、東日本旅客鉄道(株)と魚沼漁業協同組合の主催する「鮭の稚魚放流」が川井本田信濃川右岸河川敷で開催された。
この取り組みは、信濃川の河川環境と水利用の調和を図る取り組みとして毎年この時期に開催されており、今年が11回目となる。今年も総合学習として「10年先も守りたい私たちの信濃川」をテーマに毎回参加している南小の2・4年生29人に東小千谷小学校4年生31人も加わった。これにより、放流の稚魚は例年の2倍となる約5万匹を用意。放流前に主催者から、鮭は川を下り北太平洋からベーリング海を回遊し60



80cmになったものが生まれ、た川に帰って来るが、その数はわずかに0.2%にしかならない。ストを使って説明された。子供たちは、トラックの荷台の水槽からバケツに移された稚魚を自分たちのバケツで受け取り、その後水際に逆らわな



水に付けながら傾けた。そして「頑張つて泳いで、大きくなってね」など声を掛けていた。



将来の地域の農地利用を皆で話し合いました

「みんなで守ろう!地域の農業」を合言葉に、地域の農業者、耕作者や地権者、農業委員会、行政が話し合

い、この場を組む人が進んで3月2日には大崩の池ふれあセンターで話し合



デイホームにて消費者協会サポーターが注意喚起

特殊詐欺を事前に防ぐ取り組みとして、デイホームの参加者に注意喚起と実態を説明する出前講座が開催された。小千谷市内では令和4年度



に特殊詐欺で350万円の被害があり、新潟県内の被害総額は約5億円だったとのこと。最近では初期の頃の「オレオレ詐欺」に加えて、税金や医療費が戻ってくるという言葉でATMまで行かせ、最終的には犯人の口座に金を振り込ませる「還付金詐欺」やコンビニで通販などの電子マネー(数字の番号が金額と紐づけされているもの)のカードを購入させその番号を犯人に伝える「架空料金請求詐欺」など、手口も様々な方法に

福祉会がタイムカプセル出発式

2月29日南中学校にて、今年度の卒業生を対象に岩沢福祉会からタイムカプセルの贈呈と出発式が開催された。岩沢福祉会の諏訪部長は「これから皆さんは中学校を卒業して、新しい環境に飛び込んで行くわけですが、どうぞこれまで育てて頂いた親御さんや地域に感謝し、思いやりを持って生きて行ってください」と挨拶。その後一人一人から手紙を預かり、タイムカプセルに収めた。

卒業生を代表して、田中涼華(たなかすずか)さんは「これからも支えてくれる地域の皆様への感謝を忘れず、南中学校の卒業生であることを誇りに思い、5年後の自分に褒めてもらえるよう励んでいきたいと思えます」と感謝の言葉を述べた。



岩山で計測継続中

今シーズンもアチコタネーゼの倉庫と岩山の集会所では新潟工科大学の研究室による積雪荷重の計測が行われているが、先日は岩山池ノ又集落センターにおいて、測定器のメンテナンスがあった。訪れた新潟工科大学の生徒が、電源やデータ通信の状況を確認し、不具合は先生とライン電話や

メールで確認していた。ただし今シーズンは異常に少雪だったので、十分なデータが取れたかどうかは不安である。「岩山町内には少しであるが使用料が支払われているのでありがたい」と関口町内会長は話す。



アチコタネーゼ除雪支援終了

今シーズンの異常な少雪によりアチコタネーゼの除雪作業も早々に終了を迎えた。

シーズン小千谷市の補助金で購入した除雪機も出動し、手際よく排雪を行った。



編集後記

先日岩手大学の教授と久しぶりに小千谷で会い夕食を共にしました。その方は、山古志の震災ミュージアム「おらたる」の館長をしている福岡洋先生で、小千谷市の復興にも尽力していただきました。

能登半島地震に関して、小千谷や山古志での復興を能登にも伝えるという目的で来られ、もうすでに能登には3回ほど入ったとのこと。中越大地震の記録誌など10冊を渡し、集団防災移転をした東山の十二平地区のその後の様子などを話したのですが、懐かしい名前と共に震災から今年で20年も経つとなると約10名の方が高齢や病気で亡くなっています。東日本大震災で交流した宮城県女川町の事も懐かしく話しました。また桜の咲くころに来たいと言って別れましたが、忙しい方だからどうなることか。

今月11日は東日本大震災から13年目を迎える日でありましたが、各地で追悼の行事が営まれたようです。先生と十二平の人たちと改めて女川の街を訪ねたいと思いました。